

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
行動の理論	東福寺 一郎	講義	2		2	2	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	心理学では「経験によって生じる比較的永続的な行動の変容」のことを学習と定義します。学習についての研究は歴史的に長く、現在でも主要な領域の1つです。その学習について、下記テキストに基づき、1回もしくは2回の講義で1章を目途に進めていきます。専門用語が多く、難しく感じるかもしれませんが、パワーポイントも使いながら、できるだけわかりやすく講じます。						
到達目標	テキストで取り上げられる主に動物を対象とした研究成果をもとに、自分自身を含め、人間の日常的な行動を学習心理学の立場から考察できるようになることを到達目標とします。						
回	学習内容						
1	ガイダンス。本講義で扱う基本的な内容						
2	「学習」について学ぶ(第1章)						
3	馴化と鋭敏化(第2章)						
4	古典的条件づけ1: 基本的特徴(第3章)						
5	古典的条件づけ2: 信号機能(第4章)						
6	古典的条件づけ3: 学習の内容と発現システム(第5章)						
7	「動物の認知」(DVD)視聴と小テスト						
8	オペラント条件づけ1: 基礎(第6章、オペラント条件づけの基礎)						
9	オペラント条件づけ1: 基礎(第6章、オペラント行動の獲得)						
10	オペラント条件づけ2: 強化・消去と罰・強化スケジュール(第7章、強化・消去と罰)						
11	オペラント条件づけ2: 強化・消去と罰・強化スケジュール(第7章、強化スケジュール)						
12	オペラント条件づけ3: 刺激性制御—弁別と般化(第8章、弁別)						
13	オペラント条件づけ3: 刺激性制御—弁別と般化(第8章、刺激般化)						
14	概念学習・観察学習・問題解決(第9章)						
15	記憶と学習(第10章)						
予習内容	予習: シラバスに示されている箇所を通読してください。						
復習内容	復習: 授業中に配布されたプリントとテキストを読み直し、理解を深めてください。						
教科書	実森正子・中島定彦共著 学習の心理 第2版 サイエンス社 定価 2,300円+税 ISBN 978-4-7819-1243-1						
成績評価	評価割合は小テスト20%、最終テスト80%とします。ただし、6回以上欠席した場合には無資格とします。						
実務経験							
その他 特記事項	毎回プリントを配布します。また、比較的専門性が高いので、2年次での履修が望まれます。						